

役場庁舎こだわり実感

津別高生 授業で見学 議会も傍聴

【津別】津別高2年の21人が、町の行政や議会活動の様子を見ようと町役場と町議会議場を訪れた。

18日に実施。町の歴史や産業、観光や行政などについて3年間かけて学ぶ同校独自の授業科目「つべつ学」の一環。生徒らは2021年に改築された役場庁舎を見学し、町総務課の坂井隆介庶務係長が案内した。

坂井係長は「1階は赤っぽいカラマツ、2階は

白っぽいトドマツの木材が使われている」「人口減が進んでおり、新庁舎の建物面積は改築前より小さく、コンパクトになっている」と説明。

見学した高橋賢斗さん(16)は「木がふんだんに使われ、こだわって建てられた庁舎なんだなと思った」と感想を語った。

生徒らはその後、この日始まった定例町議会本会議の様子を傍聴した。

(青山秀行)



役場庁舎内を見学する津別高の生徒ら